

## 佐々山総領事メッセージ

令和2年10月

トロント総領事に就任後、約2ヶ月が過ぎました。この間、残念ながらオンタリオ州の一部地域で再び新型コロナウイルスの感染が拡大しました。10月10日よりトロント、ピールなど一部の地域で、経済再開計画の第二段階を改定した措置をとることとなり、適用地域はその後拡大されています。この結果、レストランやフィットネス施設など一部の業界では再び規制が強化されることとなりました。関係業界の皆様におかれましては厳しい状況が続くかと思いますが、感染の状況が改善し、経済再開が再び軌道に乗ることを念じております。

この秋は、世界的に有名なトロント国際映画祭、また、日系文化会館（JCCC）主催の日本映画祭も相次いでオンライン開催となりました。例年の賑わいがないのは寂しい一方で、私も自宅で映画鑑賞をしました。新しい楽しみ方の一つだと思います。

このような中でも、新任の総領事として、多くの方とオンラインや対面でご挨拶することができました。



リック・ニコルズ オンタリオ州議会副議長  
(10月7日)



エリザベス・ドズウェル オンタリオ州副総督  
(10月27日)



ヴィック・フィデリ オンタリオ州経済開発・雇用創出・貿易大臣  
(9月18日) (大臣は写真右上)



アーニー・ハーデマン オンタリオ州農業・食料・郊外問題大臣  
(10月26日)



フランク・スカルピティ マーカム市長  
(9月30日)



ボニー・クロンビー ミシサガ市長  
(10月2日)

そのほか、以下の方々にもご挨拶することができました。

テッド・アーノット・オンタリオ州議会議長 (10月14日)

ローリー・スコット・オンタリオ州インフラ大臣 (10月7日)

スティーブ・ボウマン 王立オンタリオ博物館 (ROM) 理事長 (9月30日)

ジョシュ・バッセジス ROM館長 (9月30日)

メリック・ガートラー トロント大学学長 (10月20日)

ロンダ・レントン ヨーク大学学長 (10月21日)

トロント日本商工会理事 (9月17日)をはじめ、商社、金融、製造業等の日系企業の皆様

令和2年春の叙勲については、コロナ禍の影響で勲章及び勲記の伝達が遅れていましたが、今月、JCCCや書道カナダで活躍したマリー・メイコ・イケダ氏及びピーター・ヒロシ・ワカヤマ氏にそれぞれお渡しすることができました。

月見をテーマにした「ムーンライト俳句チャレンジ」には、152名、201句の応募があり、盛況のうちに終了いたしました。皆様の関心の高さに驚きました。近く、応募作品の俳句集を公表いたします。

ある日、総領事館に出勤したとき、入り口のセキュリティーの方に、あなたは新しい日本の総領事か、と呼び止められました。話をしていると、彼女はこれまで何人もの日本人学生のホームステイを受け入れ、多くの方と今でも連絡がある、とのことでした。カナダの多くの方に日加、日オンタリオの関係を支えていただいていることを実感した次第です。

これからもしばらくはコロナへの対応が続くことと存じます。このような中であっても、少しでも日本とオンタリオ州の皆様と繋がり続ける、さらに豊かなものとする努力を続けていきたいと思えます。

在トロント日本国総領事 佐々山 拓也